



▲みなさまおはようございます…今日も声の広報が街に流れる

市の行事や催し、火災、行方不明などの放送で「声の広報」として市民のみなさんに親しまれている広報無線の周波数を、地震などの災害時に近隣市町と混信しないよう変更いたします。

周波数変更工事は、現在各受信局(広報塔)のアンテナを取替え中ですが、

2月28日から3月9日にかけて、送信機と受信機を取替えますので放送が聞こえなくなります。

市民のみなさんには、なるべくご迷惑をかけないように短期間で変更工事を行いますのでご協力をお願いします。

より役立つ広報無線へ

混信を防ぐ周波数変更工事に協力を

全国一の広報無線だが…

この広報無線は、昭和33年11月に開局して、市内全域で放送が聞こえるよう、受信局の充実、改善をはかってきました。

現在市内に設置されている受信局は210局ですが、3月までには225局になります。このうち停電になっても使用できる非常電源装置つきは122局で、スピーカーで音を流す屋

外方式の広報無線としては、全国一の規模です。

しかし、富士川町・西伊豆町・伊東市が同じ周波数65.51メガヘルツを使用しています。このため混信が起きないように富士川町とは時間調整をし、送信機にも同時に放送できないようロック装置がついています。

実際に災害が発生したらどうでし



税証明のとり方

(おたずねします) 私用で納税証明が必要になった場合、どのような手続きをしたらよいか、教えてください。(一市民)

(おこたえます) 税の証明には納税証明と、完納証明があります。

使用目的や提出先により異なりますので特に注意してください。

納税証明は、市税の税目ごとの証明で、完納証明は、全部の税目について滞納がないことの証明です。

申請するときは次のことに注意してください。

- ◆証明してほしい人の住所、氏名、証明書に記載する年度と税目、町名を必ず記入してください。
- ◆住所を変更したときは、旧住所、

現住所、変更月日を記入してください。

- ◆市税を納めてから1週間以内にその市税の証明を申請する場合は、その領収書を持ってきてください。
- ◆持ってくるものは、申請者の印鑑と手数料1通100円が必要です。
- ◆代理人のときは、承諾書と代理人の印鑑を持ってきてください。ただし、証明する市税の領収書を提示すれば、承諾書はいりません。法人の場合は社印が必要です。
- ・この申請窓口は、市民課または納税課です。(市納税課)

よう。時間調整するのは不可能です。各市町が一斉に放送を始めたら混乱し、正確迅速な情報をお知らせすることができなくなってしまいます。

周波数を変更します

このような事態になった最大の原因は、郵政省が定めた地方行政波(広報無線用)の周波数割当が、全国で4波しかなく、このうち東海地区への割当は2波しかなかったからです。

東海大地震発生の危険性がいわれ始めた52年頃から、広報無線を設置する市町村が急激に増えはじめたため、郵政省は、53年12月に新たに広報無線用「防災行政波」として、15波の割当を許可しました。そしてこれまでの地方行政波をこの防災行政波に変更するよう指導しています。

また現在使用中の送信機の耐用年数もきているため、今回周波数変更を決定しました。



▲アンテナ取替え中の広報塔

この工事は、いざという緊急事態の場合、混信で役に立たないような心配をなくし、身近かな情報を放送できるようにして、市民のみなさんの生命と財産を守る防災設備として大きな役割を果すようにします。

$\frac{2}{28}$ 日と $\frac{3}{1}$ 日は広報が聞こえません

2月28日と3月1日の2日間は、送信機の変更工事のため広報無線が全部聞えなくなりますが、それ以後3月9日までの間には順次聞えるようになります。工事は精力的に取り組み一日も早く聞えるようにいたします。その間、ご迷惑をおかけする地域もありますが、変更工事の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。



▲現在使用中の送信装置

春の火災予防運動

あなたです！火事を出すのも防ぐのも

二月二十八日～三月十三日

グループ訪問 37

ひと汗かいた後が...

広見地区ミセス卓球教室

「いやー驚ろきました。はじめ20人募集したら100人以上の申込みがあったんです。スポーツ熱ってすごいですネ」勤労青少年会館の職員で卓球の指導もやっている山野政宏さん(27歳)が話します。

市内の中小企業に働く青少年の福利厚生のための施設として広見地区に開設されて久しく、夕方から夜間は若人で賑わう。しかし、あまり利用されていない午前中を地域の人たちに開放し、つながりを強めていこうとはじめました。

金曜日のリーダー藤田紀子さん(48歳)は「みなさんから好評で、この教室をずっと続けてほしいという



▲初めは球がラケットに当らなかったけれど...

声が多いんです」と語ります。

「ひと汗かいた後がとても気持ちよくて...」「それにいろんな人とも知りあえるしね...」

元気な声が次々に聞こえていました。